

議決権行使レポート

証券コード 69620

会社名 株式会社 大真空

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役(監査等役員である取締役を除く。)6名選任の件			
長谷川 宗平 氏	○		
飯塚 実 氏	○		
川崎 正志 氏	○		
長谷川 晋平 氏	○		
小寺 利明 氏	○		
飯島 敬子 氏	○		

※上記の推薦は Institutional Shareholder Services Inc. (ISS) の議決権行使基準 1 と、株式会社大真空 (大真空) の公開資料を参考にした。

上記の推奨をした理由

【第1号議案 剰余金の処分の件：賛成】

普通株式1株につき金14円、配当性向はおよそ28.2%である。ISSの推奨基準によると配当性向が15~100%の場合通常は賛成が推奨されるため、この議案を賛成とする。

【第2号議案 取締役6名選任の件：賛成】

同社では6人の取締役のうち、その三分の一である小寺氏及び飯島氏の2人が社外取締役となっている。また、全取締役候補において保有株式数は純資産の20%以下(ISS推奨の基準)であったため、反対としなかった。社内取締役である長谷川宗平氏・飯塚氏・川崎氏・長谷川晋平氏は過去の業績と対応力を評価した。株式会社大真空の業績は少なくとも過去3年間において安定的に収益が向上しており(売上高、経常利益など)、昨年度の収益減少に対してもしっかりと説明し、対応策として今後の注力市場であるインドで開催された「electronica India 2022」やドイツで開催された「electronica 2022」に出展し、オ

1 Institutional Shareholder Services Inc. 「2023年版日本向け議決権行使助言基準」

オリジナル製品である「Ark (アーク) シリーズ」や「モールドタイプ水晶発振器」を紹介することで、多方面から注目を集めるなど、具体的に動いている。よって、このまま取締役を再任するのが妥当であり、賛成とした。社外取締役候補である小寺氏及び飯島氏においては、税理士・弁護士といった異なる背景を持つため、多様性があると言える。また、過去に不祥事やトラブルに関わった事実も見受けられず問題なかった。また 6 人はともに取締役会参加率が 75% を大きく上回っていることや、社外取締役のうち 1 名は女性であり、ジェンダー・ダイバーシティの観点から見ても好ましい構成と考えられる。